



回復期リハビリテーション病棟 診療実績(令和3年度)

当院の令和3年度回復期リハビリテーション病棟診療実績は次のとおりです。

➤ 施設基準

当院は、回復期リハビリテーション病棟施設基準入院料2を取得しています。

	入院料1	入院料2	入院料3	入院料4	入院料5	入院料6
医師	専任常勤1名以上					
看護職員	13:1以上 (7割以上看護師)		15:1以上 (4割以上が看護師)			
看護補助職員	10:1以上					
リハビリ専門職	専従常勤の理学療法士3名以上 作業療法士2名以上 言語聴覚士1名以上		専従常勤の理学療法士2名以上 作業療法士1名以上			
社会福祉士	専任常勤1名以上		—			
管理栄養士	管理栄養士1名	専従常勤の配置が望ましい				
重症者の割合	3割以上		2割以上		—	
自宅復帰率	7割以上					
リハビリ実績指数	40以上	—	35以上	—	30以上	—

➤ 診療実績

当院は、病床数150床中回復期リハビリテーション病棟病床が50床×2棟(100床)です。疾病別には脳血管疾患を中心に積極的なリハビリテーションを実施し、患者さまの機能・日常生活能力の改善、自宅復帰に取り組んでいます。

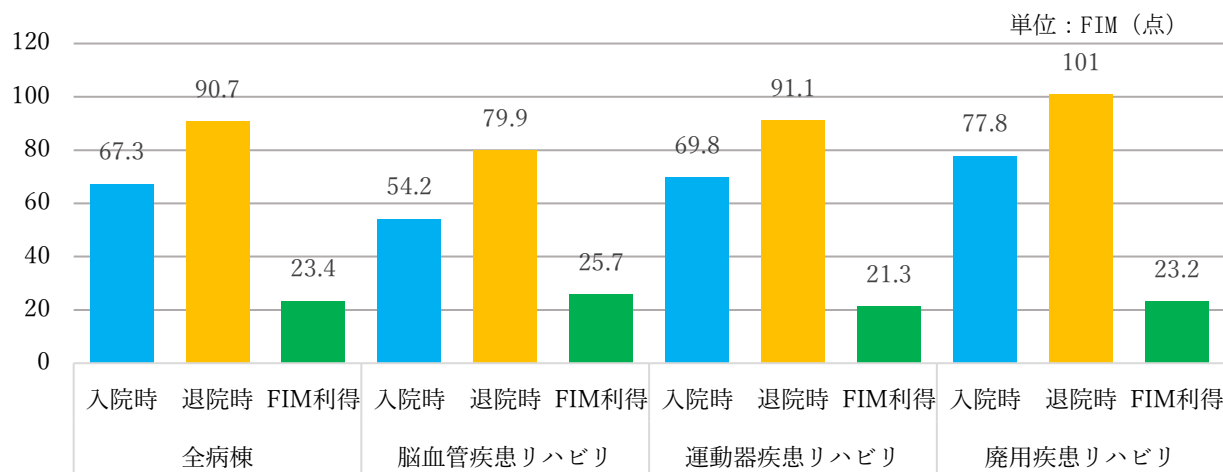
(1) 入院患者の状況

		全国平均	当院
男女の比率		42:58%	48:52%
平均年齢		76.9歳	80.4歳
疾病別リハビリテーション	脳血管疾患	44.7%	74.0%
	運動器疾患	45.4%	19.7%
	廃用症候群	8.0%	6.2%
発症から入棟までの日数		29.4日	19.3日

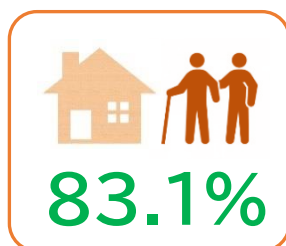
(2) FIM

FIM（機能的自立度評価法）の日常生活動作に関する項目について、回復期リハビリテーション病棟入棟時と退院時の差を算出したものです。この評価法により入院中のリハビリテーションによる改善を数値で示しています。

入院時と退院時の変化を捉えると、入院時の平均が67.3点、退院時の平均が90.7点となっています。疾病別では脳血管疾患が25.7点、運動器疾患が21.3点、廃用症候群が23.2点の改善がみられます。



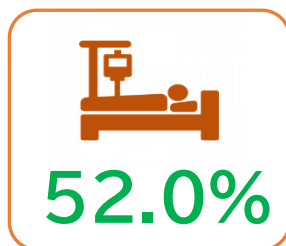
(3) 在宅復帰率



当院の在宅復帰率は、83.1%（全国平均79.0%）です。

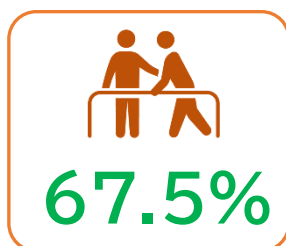
ADL（日常生活動作）の向上による、寝たきりの防止と家庭復帰を目指して多職種で共同してチーム医療を行っています。

(4) 重症患者の入院率



当院に日常生活能力が著しく低下している方が入院されている割合（機能的自立度評価法（FIM）で55点以下）は52.0%です。

(5) 重症患者の改善率



入院時に重症の方が退院時に大きく改善した（重症の患者さんが機能的自立度評価法（FIM）で16点以上改善した方）の割合は67.5%です。

➤ リハビリテーション事業実績

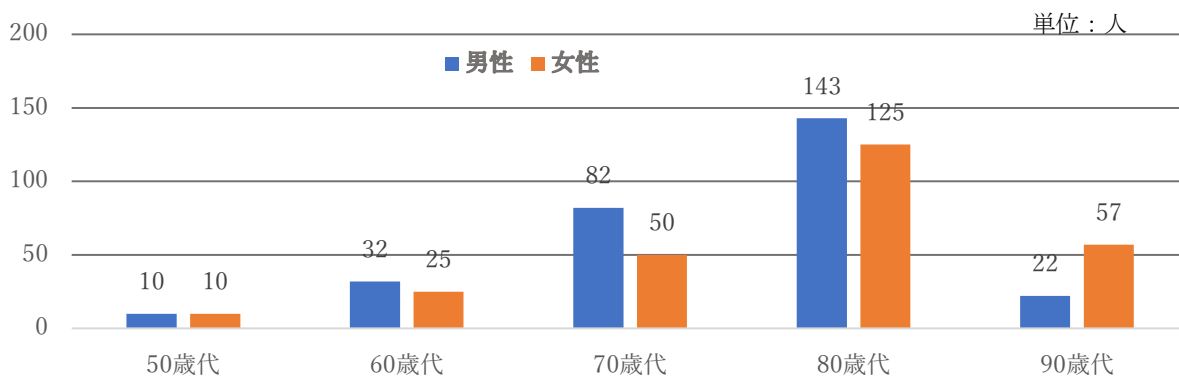
(1) 1日当たりリハビリテーション提供単位数（回復期リハビリテーション病棟）



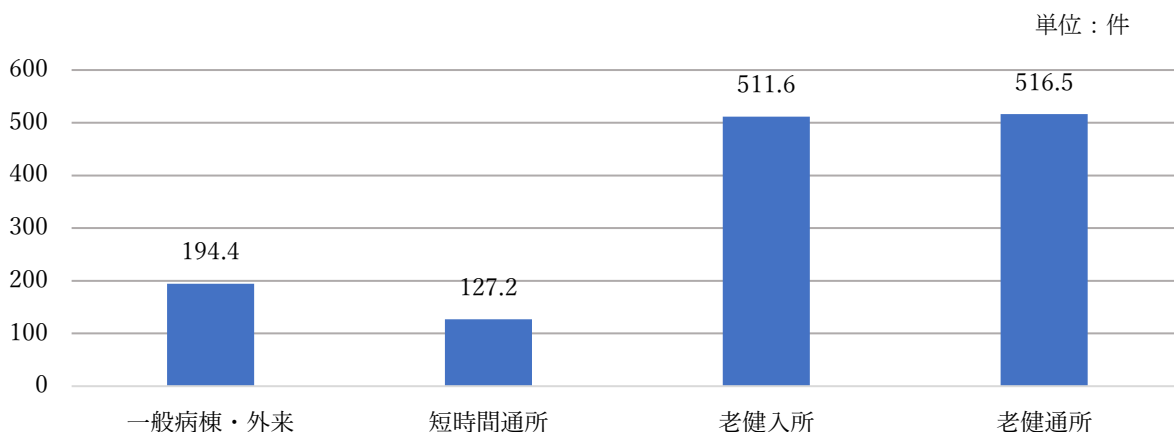
20分間リハビリテーションを提供した場合、1単位と計算されます。

当院の患者さま1人1日当たりのリハビリテーション単位は5.1単位（102分）です。（※新型コロナウイルス感染症感染による影響で減少しました。）なお、1日の提供単位数の上限は9単位です。

(2) 回復期リハビリテーション年齢別対象者数（実人員）



(3) その他リハビリテーション事業月平均実施件数（延べ数）



※一般病棟・外来：一般病棟及び外来でのリハビリテーションの実施件数

短時間通所：短時間通所リハビリテーションでの実施件数

老健入所：介護老人保健施設入所者に対する短期集中及び個別リハビリテーションの実施件数

老健通所：通所リハビリテーションでの実施件数